様式第６号

施策評価表

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（課長等）	29 年 9 月 30 日
２次評価日（部長等）	29 年 9 月 30 日

１ 施策の概要

施策名	勤労者福祉の充実			コード	3-1
この施策の主な内容（細施策）	（1）勤労者の生活支援　（2）勤労者の活動の充実				
第４次総合計画におけるこの施策の目的	人材確保の対策推進、求人・求職対策の充実、人材定着化対策の充実				
担当部課	部	産業振興部	課等	工業振興課	作成者 木下　稔

●施策の実施内容（DO）

２ 施策指標の達成状況

＊第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：30年度）

	施策指標名	単位	26年度 実績値	27年度 実績値	28年度 目標値	28年度 実績値	28年度 達成率	29年度 目標値	30年度 目標値
①	勤労者福祉施設の年間利用延べ人数	人	28,261	31,206	29,000	28,900	99.7%	29,000	29,000
	指標説明								
②	諏訪湖勤労者福祉サービスセンターの会員数	人	4,623	4,777	4,780	4,918	102.9%	5,000	5,000
	指標説明								
③							#DIV/0!		
	指標説明								

３ 施策全体にかかる合計コストの推移

＊項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示　　単位：千円

	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
直接事業費	74,652	74,796	74,814	74,886
人件費	800	800	800	800
合計コスト	75,452	75,596	75,614	75,686

●施策の評価（CHECK）

４ 施策の現状評価

＊28年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

（一財）諏訪湖勤労者福祉サービスセンターによる、勤労者福祉の充実に取り組んでおり会員数を増やす活動にも積極的に取り組んでおり福祉サービス向上に取り組んでおり会員の満足度も高い。生活資金融資の斡旋については、景気状況からまだ、勤労者が借り入れに対して慎重であることから利用件数、融資金額共に減少傾向であるが引き続き重要な勤労者福祉支援となっている。

＊岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	産業集積しており、働く場が多くある。
岡谷市の弱み	労働人口の減少、製造業事業所数、従業員数の減少傾向が続いている。

５ 今後の外部環境の変化

＊29年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	景気の回復による、新卒者など採用意欲の拡大
不利に働くもの	高齢化社会による就業人口の減少

●改善の内容（ACTION）／次年度の計画（PLAN）

6 平成30年度　施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

＊優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
＊見直しを行う分野　　＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	（一財）諏訪湖勤労者福祉サービスセンターが会員数の確保や勧誘活動により運営基盤を安定することで、勤労者福祉サービスが充実するよう支援育成に引き続き努める。
見直しを行う分野	

●30年度の優先度

＊方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付ける。

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標			直接事業費	人件費	妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位						
							26年度	26年度	26年度			
							27年度	27年度	27年度			
							28年度	28年度	28年度			
							29年度	29年度	29年度			
1		一般	その他	勤労者福利厚生事業	生活資金融資額	円	16,370	74,652	800	標準	継続して実施	B：現状維持
							13,870	74,796	800			
							9,420	74,814	800			
							9,500	74,886	800			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												